



米・食味鑑定士協会主催の第10回米・食味分析鑑定コンクール国際大会が11月24日・25日の両日、山形県南陽市で開催され、台湾などの海外も合わせ、2,650点の米が出品され、七ヶ宿産の「やまのしずく」が金賞を受賞しました。



七ヶ宿源流米ネットワークのメンバー 新たな会員も募集しています



このような水田風景を守りたい

「七ヶ宿源流米ネットワーク」は今年から本格的にデビューする水稲の新品種「やまのしずく」の試験栽培を実施し、「農業環境」・「地域環境」・「社会環境」をテーマに活動を展開してきました。11月5日には、七ヶ宿スキー場で町内外者120名を招待し、発表会を行い、共に活動してきた湯原小学校の体験発表は、多くの関係者から注目を集

めたところです。活動の一つとして七ヶ宿産の米をPRするため、米・食味分析鑑定コンクール国際大会に4名が5点で出品し、湯原地区の梅津賢一さんの「やまのしずく」が調理用途別部門で「金賞」を受賞しました。新潟県をはじめとする全国各地から出品された銘柄米と肩を並べたことは、今後の七ヶ宿町の稲作農家の大きな自信と誇りとして弾みになることと思います。



50名の審査員で実食し、評価・採点される

「環境王国」認定

環境王国とは、米・食味鑑定士協会が認定するものであり、全国ではじめて4町村（七ヶ宿町・山形県真室川町・福島県天栄村・群馬県川場村）が米・食味分析鑑定コンクール開催期間中に認定を受けました。

認定を受ける背景として、「農業と自然環境のバランスがとれた、安心安全な食の供給に適した環境の地域」が評価されたものです。

食の安全・安心をキーワードに今後、全国の飲食店やスーパーで「環境王国の農産物」として広く販売する計画です。また、環境王国指定町村の連携や交流をとおして農業の技術向上・販路拡大が期待されます。



環境王国認定マーク



七ヶ宿の水田はきれいな水で米づくりをしている

水田環境調査【特A】地区に認定

田んぼの水質や生き物の豊富さなどをもとに格付けする「水田環境調査」で、最高基準の【特A】に認定されました。



水田環境調査の様子



平成20年9月6日「水田環境【特A】」に認定される

湯原小学校の活動



カキ殻を学習田に散布



寒さのなか田植えを体験



実りの秋、収穫の楽しさを実感



注目を集めた体験発表



体験学習で学んだ「やまのしずく」を味わう